

平成22年 第10回大崎市教育委員会定例会会議録

1 招集期日	平成22年10月25日(月)	開会 午後3時00分	閉会 午後4時45分	
2 招集場所	大崎市役所 岩出山総合支所 2階 第3会議室			
3 出席委員	委員長	伊東 敬一郎	委員長 職務代行者	小高 雄悦
	委員	高橋 裕子	委員	戸島 潤
	教育長	矢内 諭		
4 欠席委員	なし			
5 傍聴者	なし			
6 事務局職員出席者	教育次長	柴原 一雄	教育次長	早坂 敏明
	参事	星 豪	参事兼 文化財課長	宮崎 龍冶
	教育総務課長	佐々木 桂一郎	学校教育課長	山口 研二
	生涯学習課長	千葉 博昭	図書館長	星 利宏
	中央公民館長	佐々木 俊一	教育総務課 副参事	峯村 和久
	学校教育課 副参事	千葉 光弘		
7 書記	教育総務課 課長補佐	石田 行男	教育総務課 総務担当係長	三浦 利之
8 報告事項		1)	大崎市の学校教育環境に関するアンケート調査集計結果について	

開 会	
委 員 長	出席委員が定足数に達していますので、平成22年第10回大崎市教育委員会定例会は成立いたしました。 これから会議を開きます。
前回会議録の承認	
委 員 長	前回会議録の承認を求めます。 内容について、ご異議ありませんか。 (「異議なし」の声あり)
委 員 長	ご異議ないものと認め、前回会議録を承認いたします。
会議録署名委員の指名	
委 員 長	本日の会議録署名委員を指名いたします。 小高委員にお願いします。
教育長報告	
委 員 長	次に、教育長報告に入ります。
教 育 長	初めに、去る10月1日に閉会いたしました第3回大崎市議会定例会一般質問の概要について、ご報告いたします。 一般質問については、9月29日から10月1日までの3日間行われ、26名の議員から質問がございました。 教育委員会についても、学校教育及び生涯学習関係で多項目の通告がございましたので、その概要について教育次長から説明をさせます。 次に、事業仕分けの実施について、ご報告いたします。 10月17日に、大崎版市民参加型事業仕分けが実施されました。 対象事業は、学校教育部が3つの事業、生涯学習部が2つの事業でございました。 当日は、仕分け委員から活発な質問や意見がございましたので、仕分け結果とともに、その概要についてご報告申し上げるものでございます。 事業仕分け全体の概要については教育次長から、また、個別の対象事業については、担当課長から説明させます。 次に、学校施設の耐震補強工事に係る追加補助内示について、ご報告いたします。 学校施設の耐震補強及び大規模改修工事につきましては、本年度採択事業として、古川第三小学校の校舎、古川東中学校の校舎及び屋体、岩出山小学校の校舎がございました。 現在、古川第三小学校と古川東中学校については実施設計を進めており、また岩出山小学校校舎については、順調に工事を進めているところでございます。

この3校に加え、9月28日に県から、西大崎小学校屋体の耐震補強工事に対して、追加補助内示がありました。

今後の進め方等については、教育総務課長から説明させます。

次に、大崎南学校給食センターの受配校拡大について、ご報告いたします。

大崎南学校給食センターの受配校拡大については、これまで大きな課題でございましたが、平成23年4月から、高倉小学校と鹿島台第一幼稚園に配送することとなりました。

保護者の理解を得るため、継続して地道な取り組みを行ってきた結果と捉えております。

新たに増える提供食数は150食程度ではありますが、今後の更なる受配校拡大とセンター化に弾みがつくものと考えております。

これまでの経過及び今後の対応等については、教育総務課長から説明させます。

委員長

教育長報告の補足説明について、それぞれ部課長から説明願います。

柴原教育次長

私からは、平成23年度予算編成方針について、概要をご報告いたします。

(資料に基づき報告)

続きまして、一般質問の概要について、ご報告いたします。私からは学校教育課に関する質問について、ご報告いたします。

(資料に基づき報告)

早坂教育次長

私からは、生涯学習部に関する一般質問の概要について、ご報告いたします。

(資料に基づき報告)

柴原教育次長

続きまして、大崎版市民参加型事業仕分けの概要について、ご報告いたします。

(資料に基づき報告)

なお、個別の事業につきましては、それぞれ担当課長から報告させます。

学校教育課長

私からは、学校教育課が所管する事業について、ご報告いたします。

(資料に基づき報告)

生涯学習課長

私からは、生涯学習課が所管する事業について、ご報告いたします。

(資料に基づき報告)

中央公民館長

私からは、中央公民館が所管する事業について、ご報告いたします。

(資料に基づき報告)

教育総務課長

続きまして、学校施設の耐震補強工事の追加補助内示について、ご報告いたします。

9月28日に、西大崎小学校屋体の耐震補強及び大規模改造工事の補助内示がございました。

これは、本年度採択分の追加措置でございます。

今後の進め方ですが、既の実施設設計が完了しておりますので、12月補正で工事請負費を補正計上し、22年度の繰越事業として工事を進めたいと考えております。

現時点での総事業費は30,338千円で、工期は来年の8月までと考えております。

本市の耐震化率ですが、平成21年度末で86.8%、平成22年度末で89.4%の見込みです。

耐震補強工事の必要があります池月小学校校舎、鹿島台小学校、敷玉小学校、中山小学校の各屋体につきましては、平成24年度までの実施計画に位置づけられておりますので、23年度と24年度で工事を行うことにより、耐震化率100%になる見込みです。

次に、大崎南学校給食センターの受配校拡大について、ご報告いたします。

(資料に基づき報告)

以上で、ご報告を終わります。

委員長

ただいまの教育長報告について、質疑はありますか。

高橋委員

一般質問についてですが、大崎市内に幼保一元化施設が3箇所ありますけれども、認定子ども園との違いと、今後認定子ども園制度に向かって行くのかどうかをお聞きします。

教育総務課長

認定子ども園と幼保一元化施設の違いにつきましては、資料をご準備いたします。後ほどお配りしたいと思います。

今後の国の動向ですが、「子ども園」構想がございます。現在、幼稚園は文部科学省が、保育所は厚生労働省がそれぞれ所管していますが、これらを所管している部署を統合して、「子ども家庭省」を創設しようとしております。

大崎市としましても国の動向を見極め、「認定子ども園」ではなく「子ども園」の方向に向かっていくものと思われま。

委員長

他にありませんか。

戸島委員

事業仕分けの中で教員補助等配置事業がありましたが、現在は国の緊急雇用創出事業で行っているとのことでした。緊急雇用創出事業は23年度で終わりますけれども、それ以降はボランティアで行うとかの予定があるかどうか、もしわかれれば国の方針なども教えていただきたい。

学校教育課長

国の緊急雇用創出事業は、平成23年度で終了します。

この事業の終了と同時に教員補助がいなくなったのでは、現場が非常に困惑すると思われま。

まだ確定ではありませんが、24年度以降は市単独で雇用できるよう、関係課と協議を進めているところです。

教育委員会としましては、現状から後退しないように、市単独の経費で配置できるようにしたいと考えております。

柴原教育次長

ただいまの件について、補足説明いたします。
事業仕分けの際に、この案件の抜本的な解決策はあるのか、という質問がございました。
答弁では、難しいというふうに言いましたが、文部科学省の新しい方針として学級定数の減少を上げております。
これは、教師一人あたりの児童・生徒数が少なければ、よりきめ細かな教育ができるというものです。教師の負担は少なくなると思えますけれども、LDの子どもがいたりしますと、やはり教員補助が必要になってくると思えます、というような答弁をしたところです。

戸島委員

今の教員補助制度は、非常にいい制度だと思います。市単独での事業は大変かと思いますが、いい制度ですのでぜひ残していただきたいと思えます。

委員長

他にありませんか。

小高委員

事業仕分け対象事業のうち、中央公民館所管の各種教室事業についてですが、学校支援のボランティアなどを活用できませんか。小規模校などではできそうな気がしますが、そのような考えはありませんか。

柴原教育次長

事業仕分け当日には、そのような質問が複数出されております。
いろんなケースがあると思われませんが、学校側からすれば無償で協力いただくと非常に気を遣うとのこと。
また、ひとつの責任ある仕事をボランティアの方に任せていいのか、との思いもありますし、ボランティアの方の都合で事業ができなかったりすることがあるので、学校としては難しい面があるようです。
趣旨そのものは非常に良いと思えますし、地域と学校の連携は教育委員会としても進めていかなければならないことではあります。事業として行っていくのは難しいのかな、というような答弁があったようです。

千葉副参事

学校教育活動の中で、保護者の協力をいただいていることは結構あります。
例えば、図書館の環境を整えようということで、図書館の飾り付けを行っていただいたり、校外学習のために子どもたちの引率のお手伝いをいただいたりしております。
また、体育の授業で跳箱をやる際に、その補助をお願いしたりしているところもありますが、継続性という観点から考えますと難しいところがあります。

委員長

今取り上げている話題は、学校支援地域本部事業として県の補助を受けて色麻町と大崎市松山地域で行われていますが、組織化するという面で難しいところがあります。
また、学校教育環境に関するアンケート調査の中でも学校支援についての問いかけをしていますが、これらの中で、「やれるもの」から「やれる地域」で組織的に取り入れていくことが望ましいのかなと思えます。

また、教員補助の配置については、国庫補助がなくなるから配置人数が減るといふのでは現場が混乱すると思ふます。支援を要する児童が減るとも思ふませんし、むしろ増加傾向にあると思ふますので、教育委員会としては人的体制を考えていかなければなりません。

峯村副参事

教育環境整備指針基本原案の最終報告の素案づくりに着手しておりますが、その中の、地域との連携に関する項目で、庁内調整会議等でもご意見をいただいております。

具体の推進手法の中で、学校支援地域本部事業を各地域に拡大させて、地域が学校を支えていくという方針をまとめているところです。

それを支えるものとして、人材バンク登録なども取り入れて事業を進めていきたいと考えております。

教育総務課長

ただいま話題になっております、学校支援地域本部事業につきましては、本年度で文部科学省の補助が終了します。

聞くところによりますと、来年度は地域の方々で事業を継続していこうという方向にあるようです。

事業自体は大変すばらしい内容ですので、できれば継続していただきたいと考えておりますが、事業を進めるにあたり生涯学習課とも協議をしなければならぬと考えております。

そして、取り組みの範囲が広がっていけば、モデル的な事業として教育環境整備指針に位置づけられるのではないかと考えております。

小高委員

地域の方々の中には、子どもたちに色々と教えたがっている人や事業に参加したがっている人がいると思ふます。参加のきっかけがないだけだと思ふます。

委員長

事業仕分けの質問が多く出ましたが、いずれも事業の質を低下させないようしていただきたいという、委員各位のご意見だと思ふます。

また今後、事業推進の手法を検討していくことも必要ではないかと思ふます。

委員長

他に質疑はありませんか。

(「質疑なし」の声あり)

委員長

質疑がなければ、教育長報告を承認します。

報告事項

委員長

次に、報告事項に入りたいと思います。
大崎市の学校教育環境に関するアンケート調査集計結果について、峯村副参事より報告願います。

峯村副参事

大崎市の学校教育環境に関するアンケート調査集計結果について、ご報告いたします。

(資料に基づき説明)

今回のアンケート調査集計結果や、学校教育環境整備事業説明・懇談会における意見、要望などを反映させながら、最終報告素案の取りまとめを進めていきたいと考えております。

検討項目については、概ね年内に検討が終了しますので、年明けの庁内調整会議や検討委員会を経て、最終報告の素案を教育委員会の会議にお示しできるものと考えております。

なお、これまで説明・懇談会の概要を3回に分けて各委員さんに配付いたしましたでしたが、前回の会議において、説明・懇談会の要望事項を取りまとめてほしいとのご意見がございました。要望事項を1冊にまとめた冊子を作成いたしましたので、ご参照願います。

以上で説明を終わります。

委員長

ただいまの件につきまして、ご意見、質疑はありませんか。

戸島委員

この集計結果は、どのような形で公表するのですか。

峯村副参事

本日の定例会終了後、市長に報告いたします。

その後、市議会議員と全ての小・中学校にアンケート調査結果と説明・懇談会の報告書を配付いたします。

また、11月下旬から12月上旬に市のホームページに掲載いたしますし、総合支所や公民館などにも数冊置かせていただくようになると思います。

戸島委員

概要版だけでも全戸配付はできませんか。もしできなければ、アンケート調査にご協力をいただいた保護者の方々にでも、配付はできませんか。

峯村副参事

市の広報誌や総合支所だよりなどにアンケート調査結果等が閲覧できる場所を掲載し、広く周知を図りたいと思います。

委員長

全体の集計結果と地域ごとの集計結果を突合せると、色々なことがわかってくると思いますので、ぜひお願いします。

戸島委員

統廃合に対して、迅速に検討すべきと考えている人が3割以上もいたということは、今後検討すべきではないでしょうか。

委員長

通学区域について、隣接校で検討してほしいという回答も、予想以上に多いということは、旧市町にとらわれていない人が多いと思われます。

<p>委 員 長</p> <p>委 員 長</p> <p>委 員 長</p>	<p>他に、ご意見などはありませんか。</p> <p>（「なし」の声あり）</p> <p>他になければ、以上で報告事項を終了します。</p> <p>以上で本日の教育委員会定例会を終了します。</p>
<p>閉 会</p>	<p>この会議録の作成者は次のとおりである。</p> <p>教育総務課 総務担当 主幹兼係長 三浦 利之</p> <p>上記記録の正確なることを認め、ここに署名する。</p> <p>平成 年 月 日</p> <p>委 員 長 _____</p> <p>署名委員 _____</p>

報 告 事 項 会 議 録

委 員 長	各課からの報告事項について、説明願います。
星 参 事	① 校長ヒアリングと北部教育事務所管内の人事ブロック会議開催について。 ② 管理職選考面接試験の実施について。
宮 崎 参 事	① 岩出山郷土史講座の開催について。 ② 仙台文学館主催「文学に描かれた伊達政宗パネル展」開催について。 ③ 発掘調査成果展開催について。
教育総務課長	① 第11回教育委員会定例会 11月29日(月) 午後1時30分から教育委員協議会 午後2時30分から教育委員会定例会 ② 11月12日午後1時30分、市議会総務常任委員会開催予定。
生涯学習課長	図書館等整備事業の概要と経過について。
図 書 館 長	① 指定寄附について(3件) ② 第5回読書感想文コンクールについて
中央公民館長	公民館の地域運営のあり方に関するパートナーシップ会議速報について
千葉副参事	① 10月中の事故報告について ② 不審者情報について ③ インフルエンザの発生について ④ 学校行事の案内について
閉 会	午後4時45分 この会議録の作成者は次のとおりである。 教育総務課 総務担当 主幹兼係長 三浦 利之